

市民活動状況  
(8月末日現在)

|            |        |
|------------|--------|
| 市内NPO法人数   | 32 団体  |
| 当センター登録団体数 | 154 団体 |
| 来館者数       | 929人   |
| 印刷機利用枚数    | 6,983枚 |

## ひびき



発行枚数 500枚 メール配信 100団体

発行人 指定管理者NPO法人茨城県南生活者ネット 龍ヶ崎市市民活動センター長 島村宏之

龍ヶ崎市市民活動センターは社会貢献活動を行う団体を支援するための施設です。  
 会議スペース・作業スペース・印刷機・紙折り機・パソコン・多目的室等(1階)や  
 大会議室・小会議室・パソコン室・和室・工作室(2階)・陶芸室(1階外倉庫隣り)がご利用いただけます。  
 開館時間 = 午前9時～午後7時(日曜祝日は午後5時まで)2階各室は夜間も(午後10時まで)利用可能です。  
 休館日 = 月曜日および年末年始、特別に定める日  
 〒301-0004 龍ヶ崎市駒馬町2445 TEL 0297-63-0030 / FAX 0297-63-0571  
 E-mail center@ryugasaki-shiminkatsudo.net URL https://ryugasaki-shiminkatsudo.net



## 市民団体活動紹介シリーズ No.36「ニ金会」

目指せ！市民活動日本一

「ニ金会」は10年以上活動しているパソコン教室(同好会)です。

パソコンはこれまで、ビジネスの必要な文章作成や表計算だけでなく、インターネット、Eメールなどの通信手段としても大きな役割を果たしてきました。

しかし、近年スマホの性能向上に伴って、SNSやLINEはもちろん、ショッピング、交通機関の予約や送金なども簡単に操作できるようになりました。

スマホがあれば、パソコンは不要になる時代がくるかもしれませんが、ゲーム、動画鑑賞、ブログやホームページなどは、スマホ対応しにくいこともあります。

パソコンは画面が大きく見やすいし、短時間で大量の文字・画像(データ)を入力できます。

パソコンがスマホに取って代わられるわけではなく、それぞれの得意分野を発展させ、共存する時代になっています。

当同好会は、このような状況の変化に対応し、パソコンの操作や基礎的知識の習得、スマホとの使い分けやデータの共有など、広くパソコンを楽しむことを目的として活動しています。

入会は、いつでも可能です。特別な基礎知識は必要ありません。

問い合わせ：吉野忠司0297-66-0148 090-6565-4369



## 市民協働事業によって製作された段ボール機関車～ザ・ヒロサワシティ「ユメノバ」展示「バス見学会」

龍ヶ崎市協働事業提案制度により、平成28年度(2016年度)に製作された段ボール機関車が、「ユメノバ(開館：令和6年(2024年)2月11日)」にて展示されていることから、市民の参加を募り見学会を8月29日(木)に開催しました。当日、台風10号の影響を心配されましたが、ザ・ヒロサワシティ内のテーマパーク「ユメノバ」を見学している時は、曇り空で過ごすことができました。

取締役野口様が、段ボール機関車を始め北斗星、新幹線、飛行機、宇宙の歴史等を詳しく説明案内してくださり、参加者の皆さん目を輝かせて聞き入っていました。

帰りのバスの中で参加された方々に、感想・ご意見を伺いましたら、親子で参加しましたが、ゆっくり見学ができました。特に、車両を移設する際の苦労話やエピソードが聞けて良かったです。

「期待していた以上の見学会でした」「段ボール機関車を見られて良かったです」等々、有意義で楽しい時間を過ごされたようでした。

～「ユメノバ」永久展示 段ボール機関車について～

昔、龍ヶ崎市を走っていた蒸気機関車(4号機関車：C型タンク蒸気機関車)をモデルにして作られた、実物大の段ボール製SLです。

モデルとなった機関車は昭和40年(1965年)12月に現役を退き、現在龍ヶ崎市歴史民俗資料館にて、屋外展示されています。

段ボール製SLと見比べてみてはいかがでしょうか。

\* 市民活動・地域情報サイト みんなでりゅうがさき -参照- \*



## 8月25日(日)龍ヶ崎まちづくり講座「龍ヶ崎市・利根町の子育てカフェ活動紹介」報告

報告者：黒澤七緒氏(利根町の子育てカフェ「ママとこcafe」オーナー)

吉澤美緒氏(松ヶ丘の子育てカフェほっぺ代表)

子育てカフェを利根町と龍ヶ崎市で立ち上げたお二人をお招きしました。

小さな子供がいる中で子育てカフェを始めた経緯から話していただきました。

黒澤さんは、開店当初は「高齢化の進む利根町で子連れカフェなんてやっても子供がいないんだからお客さん来ないよ」と言われましたが、ママとこcafeの開店は予想以上の反響があり、県外から車で1時間近くかけて来店してくださるリピーターさんもできました。そしてお客様が口々に「こういうカフェが欲しかった」と喜んでくださり、この店のコンセプトに間違いはなかったと確信しています。

そして、もう一つ予想外だったことがあります。それは、高齢者たちからもとても支持され、高齢化の進むこの地域では、小さな子どもたちの姿を見ることはほとんどありませんが、この店に来れば子どもたちと触れ合え、ママたちから子育ての相談を受けたりして、自然に世代を超えた交流が生まれています。

吉澤さんは「子どもを地域のおじいちゃんおばあちゃんに見てもらいながら、ママがゆっくりご飯できる」をコンセプトにしています。地域のおじいちゃんおばあちゃんボランティア用LINEグループを作り、予約が入ると来てもらえるようお願いできるシステムになっています。子育てカフェに興味を持ってくださった方が沢山いらして下さり、とても嬉しく感じました。

参加者からは「どちらも大変なことがあるのだと思いますが、思いがいっぱい詰まっていたり頑張っているなあと感じました。その思いに仲間がつながって行って、物事が実現していくのですね！」「利根町の創業支援を受け、起業され、今では利根町以外からも年間2,000人の子育てママが集まるのを聞き、当初、希望した龍ヶ崎市で開設されていたらと思うと残念。」「子育て支援カフェの運営にはいくつかの課題があり、それを解決するためには、たくさんの人の協力が必要なのだ分かりました。そしてこれからもぜひ、続けてほしいと思いました。」「今後、このような話を聞く機会を多く設けていただきたい。」との活動センターへの要望もありました。



## 「市民活動サポート補助金事業実施報告会」の報告

9月14日(土)龍ヶ崎市/龍ヶ崎市市民活動センター主催、令和5年度の市民活動サポート補助金事業実施報告会を市民活動センター大会議室にて開催しました。昨年度の市民活動サポート補助金ジャンプアップ支援事業を行った団体は次の4団体、及びその事業内容です。

- 龍ヶ崎機関車推進協議会「龍ヶ崎竹灯籠アート籠KOMERU2023」。
- ど根性ひまわりの会「ど根性ひまわりを育てて、東日本大震災の被災地を応援しよう」。
- NPO法人龍ヶ崎の価値ある建造物を保存する市民の会「竹内農場西洋館竣工100周年記念式典&交流会」。
- たつのこプレーパーク遊んじゃ王「プレーパーク(冒険遊び場)事業」。

参加者は一般市民17名、発表者4名、スタッフは市・地域づくり推進課から3名、市民活動センターから2名、合わせて26名が参加しました。

司会は市民活動センター島村センター長が行い、最初に市・地域づくり推進課鴻巣課長の挨拶があり、塚本課長補佐からは市民活動サポート補助金事業の説明がありました。

第1部は前述の4団体がプロジェクターにて情報を投影し、それぞれの事業及び成果報告を行いました。

第2部は参加者及び発表者が4つのテーブルに別れて、今後「市民活動サポート補助金事業」を活用するとしたら、どのような事業を行いたいのか？というテーマで論議しました。

そしてテーブルごとに代表を決めて発表していただきましたが、子育てカフェ、子ども食堂、撞舞の写真冊子制作、歴史的建造物で遊んじゃおう、ボランティアガイドの育成、空き店舗の観光案内所へのリノベーション、出張ラジオ放送局といった多岐にわたる意見が出ました。今後の参考になればと思います。

○龍ヶ崎短歌会  
コミ置き場の清掃当番も無事はたし八十六歳の猛暑生き延ぶ  
早苗饗は父母家で寛ぎて細やかながら御馳走並びて  
皆川 孝子  
日野林 佐智子

○龍ヶ崎コミュニケーションハウス俳句講座  
天の川圈谷に落つ清々と  
田中澄

空蟬や止まったままの古時計  
川上恭子

